



立山町立釜ヶ淵小学校

R2. 6. 5



待ち望んだ学校再開！

子供たちが最初に学校休業に入ったのは3月初め、季節は春を迎える準備の頃でした。桜の花が満開になった時には4日間の登校日がありましたが、再び4月10日から子供たちの学校生活は止まってしまいました。

学校生活の時間は止まっても季節は変化を続けて深緑のまぶしい季節、再び学校生活が再開しました。今は、集団登校中に地域の見守り隊の方にあいさつをし、地域の方も笑顔であいさつを返してくれています。学校に着くと、植物の水やりをしたりグラウンドを走ったりしています。その後教室で朝の会。子供たちの元気な動きもまぶしく輝いて見えます。昨年度までと何ら変わらない様子ですが、この日常が本当にありがたいことだと、いまさらながらに感じています。もうこの学校生活が止まるのが起きてほしくないと願っています。

○ タブレットを使った撮影・報告 ○

6月1日のUSBメモリの返却時、登校後、AさんもTさんもUSBメモリに「動画を入れてきたよ」と話してくれました。朝の会は、その動画を見ながらのスピーチになりました。Tさんは、大切な宝物の歩くおもちゃ「ゾルドワイルド」の動画を撮ってきました。タブレットを手でもっての撮影なので、時々大きくぶれますが、それが動く臨場感を感じさせました。Aさんは2回目で、家でやっている理科の植物の成長の比較実験している途中結果を報告しました。今回は、あわてず落ち着いた説明を入れた報告になりました。次回は、どんな報告になるのか楽しみです。

今後もデータ移動にUSBメモリをどんどん利用されることをお勧めします。必要な時は知らせていただくとUSBメモリを持たせます。

○ 野菜づくり ○

学校の畑は、畝づくりを終え、子供たちの分散登校に合わせて利用できるようになりました。あおぞら級では、ジャガイモ、トマト、オクラを植えました。ジャガイモは「ジャガイモ芽挿し栽培」、トマトは、「脇芽栽培」、オクラは昨年の栽培でできた種からの栽培です。「ほぼ0円栽培」です。「ジャガイモ芽挿し栽培」は初めての挑戦です。今年は、夏休みが短縮の予定ですので、じっくり野菜を観察することができると思います。どのような収穫結果になるか不明ですが、結果が楽しみです。

トマトの脇芽はAさんからいただきました。ありがとうございました。



○ 俳句作り ○

- 青空の 雲細なりて 隠れ雲 (A)
- やさいづくり 何をしているの 二年生 (T)

国語で「言葉をよりすぐって俳句を作ろう」の学習があります。そこで、まず見たままを、17音の俳句に取り組みました。作った日は分散登校のよく晴れた温かい日でした。Aさんは、その日の青く晴れた空の山際の細い雲を見つめ、隠れ雲と表現しました。Tさんは、窓から見える2年生が、野菜の苗を植えた後、棚を作る先生の周りを見ている様子を見て、「何をしているかな」とつぶやいたことがそのまま俳句になりました。「言葉をすぐる」には材料不足ですが、目に見えた何気ない情景をしっかりと捉え、描写表現することができたと思います。子供らしい気持ちが伝わる作品だと思います。

○ お知らせ・お願い＝変わった学校生活＝ ○

新型コロナウイルス感染症対策ために、学校の対応、子供たちの学校生活で取り組んでいることをお知らせします。

- ・登校時 朝の検温結果を含めた健康観察カードの提出。
- ・休憩後 教室に入る前、手洗い・消毒。
- ・学習 常時マスクの着用。
- ・掃除 学級ごと。あおぞら級は教室と3階廊下を2人で分担。
- ・給食 給食当番は、フェイスシールドを着用。
ランチルーム利用は、5・6年生のみ。
席を一人分空けて座り、一方向を向いての食事。
- ・体育 体育の時間だけ、マスクを外しています。今は学年別の学習。
- ・時間割 臨時休業中の家庭学習の復習から行っています。そのため、4教科に重点を置いた時間割編成です。



(ランチルーム)

昨年までと違い、接触を避ける学校生活です。いろいろな時間に友達と話し合う、触れ合うことは避けているため、つまらなさを感じているかもしれません。子供の様子で気になる様子が見られたら知らせていただきたいと思います。また、このような学校生活で過ごすことにご理解をお願いします。

< 担任の「あおぞら日記」 >

6月1日、家から持ってきた動画データを見ていた時のこと。Tさんが「動画撮影の一時停止ボタンを押すとどうなるの」と質問しました。早速、教室のパソコンで実験をすることにしました。一時停止前と一時停止後の違いが分かるように、手に何も持たず5秒撮影、一時停止、手に本を持って5秒撮影をしました。できたビデオは、停止前と停止後とつながった1つになりました。

「1秒ずつ何回も撮影したらどうなるの」と新たな疑問が生まれ、さらに試しました。最初、画面の端になる位置に立って1秒から2秒撮影、「少し場所を移動して1秒から2秒の撮影」を繰り返しました。瞬間移動をするようなコマ送りのような動画ができました。興味をもったことにはどんどんアイディアが広がるTさんでした。アニメーションは、この仕組みを利用していることを紹介しました。「やってみたい」と言うかなと予想したのですが、「面倒くさい」の返答で終わってしまいました。図工の教科書にもこの方法を利用した動画づくりが紹介されています。図工として挑戦させてみるのも面白いなと思いました。(難点は、タブレットを三脚等に固定する方法がないこと、何か工夫できないかと思います。)

